

一 般 質 問



Q & A

町民の「声」を代表して 7人が質問

一 般 質 問



伊木 真由子

コミュニティ・スクール

問 どのような目標のもと、取り組んでいるのか。

答 小中9年間で全ての子どもに自立して社会で生き抜く力を育むことを目標としている。

問 平成30年4月より、能勢ささゆり学園をコミュニティ・スクールに指定している。現時点での成果は。

答 4つの部会を立ち上げ、それぞれの部会での取り組みが進められたことが成果である。

問 コミュニティ・スクールとして機能するには、多くの地域の方に関わってもらうことが大事ではないか。

答 大事であると認識している。

一、コミュニティ・スクール 二、認知症施策

問 今のままでは、活動状況が住民に見えにくい。

答 もっと多くの方が関わりを持ちやすいよう、情報発信していくことが必要ではないか。

問 町のホームページなども活用し、少しでも周知していけるよう取り組んでいきたい。



認知症施策

問 本町では、認知症対応施策として様々なことに取り組んでおり、相談支援の体制はある。しかし、相談件数が多いのはなぜか。

答 どのような支援体制があるか、住民の方に十分に示せていないと考える。ケアパスなどのパンフレットを通じて、周知していきたい。

問 認知症の方が家に閉じこもり、寝たきりにならないような支援が必要だと考えるがどうか。

答 地域共生社会を実現していく中で、集いの場・通いの場があれば孤立することなく社会参加できると考え、取り組んでいる。また今年度は、実際の困りごとを拾い上げていく体制を固めていきたい。

